

サポートセンター通信



No. 93

発行日：2021年5月17日 第93号

発行元：松本市市民活動サポートセンター

〒390-0874 松本市大手 3-8-13

松本市役所大手事務所 2階

TEL/FAX: 0263-88-2988

Mail: support-center@support-center.jp

URL: http://www.support-center.jp

NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみの事業が エコツーリズム大賞で特別賞に選ばれました!!

エコツーリズム大賞特別賞を受賞して

環境ということは、今更説明する必要なく、現代社会におけるキーワードです。持続可能な開発やゼロカーボンなど、社会経済活動を営むうえで環境に配慮したものでなければ商品として売れないようになってきました。旅行もしかりです。

エコツーリズム大賞の表彰も始まってから16年目、様々な団体が様々な取り組みの中で受賞しており、私もそうした先輩方の活動に刺激を受けて活動を続けてきました。しかし少々気になる所を感じたのも事実です。いかに優れた環境で、それに配慮した活動だからと言って、遠くからお客様が来るのが果たしてエコでしょうか？

今回受賞した、やまたみキッズ登山クラブ・ファミリー登山教室という事業は、基本的に地元の子供達や保護者の方が、地元の山や自然の中でそこにあるものを楽しみ、主に登山活動、古道歩き、水遊び、雪遊びなど年間を通して実施してきました。昨今のコロナ禍においても、中止することなく活動できたのは、参加者の外へ出たいという欲求と信州の山が楽しいと気づいたのでしょう。

日本中の地方で、そうした地元を楽しみ、地元が好きになるという循環が生まれれば、おのずと自然に無理なことをせず持続可能な社会を作っていくに違いありません。信州の山を楽しめる人が増えることが、エコにつながると確信しています。
(信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ理事：松場省吾)



昨年のファミリー登山教室、涸沢での1枚

プラチナサロンを開催しました！

4月8日(木) 10:00~12:00 「バードウォッチング&山菜 in アルプス公園」

講師：上條恒嗣 (前) 信州野鳥の会会長 (プラチナサポーターズ松本)

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止を考え屋外でプラチナサロンを開催いたしました。

参加者は24名で、園内を散策しながら山菜の説明や双眼鏡で野鳥の位置を確認したり、各自で楽しんでいる様子でした。



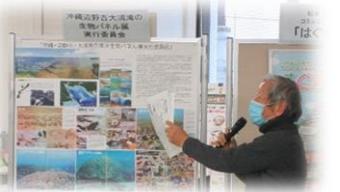
沖縄辺野古大浦湾の生物パネル展実行委員会

代表者：大月 利雄

Mail : toshio4896@ybb.ne.jp

TEL & FAX : 0263-39-2163

*市民活動団体交流会 での活動発表の様子



今回お話をうかがったのは、「沖縄辺野古大浦湾の生物パネル展実行委員会」代表の大月さんです。世界的に貴重なサンゴや、絶滅危惧種のジュゴンが住み、生物の多様さと美しさで知られる辺野古大浦湾では、基地建設のための埋立て工事が進められています。

大浦湾の生きたものたちの“今”を記録し発信している沖縄のダイビングチーム「すなっくスナフキン」が写真展を開催したことが団体設立のきっかけでした。また、パネル写真 70 枚を借りて、松本でも 2017 年に写真展を開催したことが団体名の由来となっています。

大月さんは松本で生まれ育った方ですが、40 年以上前から文献を通して沖縄の歴史に触れ、大浦湾の現状について「何もせずにいられなかった」といい発信を続けています。

3 月に沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の方が那覇市の県民広場でハンガーストライキを 6 日間にわたって実施しました。戦没者の遺骨が多く見つかったり本島南部の土地からの埋立て用土砂採取の中止を求めるものでした。大月さん自身はコロナの影響を考慮し、最近では沖縄訪問が出来ずにいます。現地でも同じく影響はあるものの、基地建設に対する抗議運動は続けられています。

す。

団体で主催した DVD 上映会などのイベントも開催が難しい状況ですが、より多くの人に辺野古大浦湾について知ってもらうため、「できることを続ける」とお話ししてくださいました。

あがたの森で開く定例会は 1 ヶ月半に 1 度ほどのペースで行っており、沖縄の地元紙を含む複数の新聞からまとめた資料をもとに、情報の共有をしながら話し合う場としています。

また、「海鳴の島から」「うちなあかな日記」という沖縄在住の方が書くブログでは、日々起きているよりリアルな大浦湾の現状を知ることができます。

基地建設に対する考え方は様々あるかもしれませんが、同時に美しい自然や生きものたちが失われようとしていることには、多くの方がいたたまれなさを感じると思います。

団体では、共感し賛同する方をいつでも歓迎しています。大月さんが営む「穂高クラフト」というナワテ通りにあるお店では、配布できる資料も置かれています。団体の活動をより詳しく知りたい方は、まずは直接お話をしてみたいでしょうか。(寺坂)

安曇野ふるさとづくり応援団

代表者：宗像 章

住所：安曇野市穂高柏原 1132-2

URL : 0263-81-1325



*新屋ガイドの様子

2006 年に設立された、NPO 法人信州ふるさとづくり応援団を母体とし、2013 年 3 月、地域に密着するための組織分割を経て、2015 年 12 月に NPO 法人の再認証を受け、「安曇野ふるさとづくり応援団」として再スタートしました。

会員の 7 割が I ターンや U ターン者で構成されていて、代表の宗像さんは I ターン者、副代表の川崎さんも U ターン者とのことでした。代表・副代表を努めるお二人にお話をうかがいました。

「住宅や別荘を増やせば地元が活性化する」という思いで活動を始めましたが、次第に「この土地の良さを知った上で移住してきてほしい」ということに気づき、「まずは自分達が地元のことを知り、地元の方々との対話も大事にしていかなければ自信が持てない」と思いました。活動の原点とも言える「ふるさとウォッチング」は、地域の魅力を再発見するガイド付きウォーキングで、この観点から始まりました。

安曇野の自然、歴史、文化などを学びながら歩き、散策後は安曇野で採れたお米を安曇野で使われていた「ぬかくど(もみがらで炊く釜)」で炊き、おむすびにして頬張り、交流を深めていました。残念ながらコロナの感染拡

大を考慮して、現在は「ぬかくどおむすび」の提供は行っていませんが、この「ぬかくど」は、小学校の体験学習でも好評です。

また、「安曇野さんぽ」「案内人の教室」「安曇野ふるさと遺産」などの景観まちづくり活動に取り組んでいて、最近では子ども達の住んでいる場所を散策しながら地域を知ってもらう探究学習にも力を入れています。「地図を見ながら地域を歩き、謎を解いてその意味を考え、自分の住んでいる場所の魅力を意識する」という試みを、小学生が取り組みやすいようにワークシートを作って、大人と子どもが会話をしながら探偵団として解決していきます。

きちんと仕上げられた提案書には、ここまで来た道のりが分かりやすく説明されていました。

「よそから来たけれど、ここを自分達のふるさとにしたい！」そんな思いから始められた事業が今、あちこちの活動団体と協働し実を結び始めています。「この指とまれ」と、とまってもらえば断ることなく、会員それぞれが持つ沢山の引出しの中から、それぞれの団体に合う知識を活用し応援したい。あとは若い方々にこの活動が繋がって欲しい。というお二人でした。(丸山)

支える人たち

『祭都わんわんパトロール隊』

地域パトロールを兼ねた愛犬の散歩で子ども達の通学路や地域の安全を守ろうと、「祭都わんわんパトロール隊」が発足して2年目を迎えました。活動の様子など、代表の松林さんにお話をうかがいました。



一活動を始めたきっかけを教えてください

私が住む田川地区は、市内では他に先駆けて、地域の人達の安全を何時でも何処でも見守る為の見守り隊ボランティアを立ち上げました。それから十年以上の年月がたつた今、見守り隊の高齢化が進むと共に意識の低下により、その存続が岐路に立たされていると、見守り隊発案者の「緑と景観を考える会」代表の筒井さんから相談されました。数年前にテレビで見たバンダナを巻いた犬がパトロール活動を実施していたことを思い出して、犬の散歩も兼ねて地域の見守り活動を行えば良いのではと考え、田川地区の愛犬家達に声をかけ、松本市地域づくりインターンの丸山さんの協力の下に、「祭都わんわんパトロール隊」を結成しました。

一活動をする上で何が資格が必要ですか？

犬の登録と、狂犬病の予防接種を済ませている市内の飼い主さんなら隊員になれます。登録時に、首に付ける黄色のバンダナ代として、1,300円が必要で、これが活動のPRになります。「祭都わんわんパトロール隊」は、自己責任の任意団体です。

一現在、登録されている犬は、何匹ですか？

田川地区を中心に、最初4匹からスタートし、飼い主さんの協力を得て、現在は市内各地に57匹の隊員がいます。犬種はさまざまで、年齢も1歳から16歳までが活躍しています。

一隊員の心得のようなものはありますか？

①地域の見守り ②犯罪抑止 ③防犯意識の向上
④愛犬家としてのマナー向上
を目指しています。

隊員はルールを守りながら、犬にも住みよい町になるよう活動しています。

一誰でも無理なくできるところが魅力ですね。

通常の活動は各自の自由活動です。登録の際に、散歩コースや散歩の時間帯などは申請されています。田川地区では、小学校と連携を取り、下校時間変更等の連絡があれば、その時間に合わせてパトロールに行きます。

小学校からオファーを受け、行事の際に訪問すると、犬達は人気者で、生徒と犬が触れ合う良い機会となっています。

気軽に組み合わせて、バンダナをきっかけにして色んな人や犬と交流できると好評です。散歩途中で不法投棄や財布の落とし物を発見したり、行方不明のお子さんの捜索のお手伝いをしたりと、早朝から夜まで、地域に貢献しています。

一パトロール活動で一番重要な事は何ですか？

とにかく目立つことです。バンダナを巻いた犬が散歩することで、犯罪の抑止力になります。飼い主の防犯意識の向上や、地域の安全にもつながります。大事なものは、松本市は防犯意識の高い都市だということを犯罪者に知らしめることです。

一これからの目標は？

「祭都わんわんパトロール隊」は、まだPR不足なので、もっと周知する必要があります。隊員犬を紹介するチラシとアルバムを作りました。隊員犬募集につながるように、田川公民館、白坂公民館、Mウイング、大手交番等に置かせていただいております。アルバムをきっかけにして、愛犬といつもの散歩をしながら地域の安心安全を守ろうという仲間の輪が広がればと期待しています。

取材当日、5匹のわんちゃんが集まってくださいました。12歳のホワイトテリアのさくらちゃんの飼い主さんは、「参加して、前より周囲を意識するようになった。犬同士の触れ合いから、犬の社会性も身についた。」と話していました。

大小さまざまなわんちゃん達が地域に開かれた活動を通して、地域の日々の小さな安心を支えていました。興味のある飼い主さんは、松林さん（TEL080-3152-8281）へお問い合わせください。

（インタビュー：塚原）

INFORMATION

お問合せ・お申込みは、各団体に直接お願いします!

■ イベント情報&ボランティア募集情報

【5月 ばそこん基礎講座】

OWord2019

日時：5月24日、25日、27日、28日 10:00~12:00

参加費：受講料 2,400 円、テキスト代 2,200 円

会場：塩尻市市民交流センターえんぱく 2F ICT ルーム

申込み・問合せ：塩尻市市民交流センター 交流支援課

TEL：0263-53-3350

(平日 9:00~19:00、土日祝 9:00~17:00、水曜休館)

Email：kouryu@city.shiojiri.lg.jp

【6月 ばそこん基礎講座】

OWord2019 後半

日時：6月7日、8日、10日、11日 10:00~12:00

参加費：受講料 2,400 円、テキスト代 2,200 円

OExcel2019 前半

日時：6月21日、22日、24日、25日

10:00~12:00

参加費：受講料 2,400 円、テキスト代 2,200 円

会場：塩尻市市民交流センターえんぱく 2F ICT ルーム

申込み：特定非営利活動法人グループHIYOKO

〒399-0737 塩尻市大門八番町4番1号

Email：pchiyoko@ghiyoko.net

問合せ：塩尻市市民交流センター 交流支援課

TEL：0263-53-3350

(平日 9:00~19:00、土日祝 9:00~17:00、水曜休館)

【第90回 松本ホタル学会例会】

日時：5月22日(土) 10:00~12:00

会場：松本市市民活動サポートセンター

内容(報告)：

①4月24日日本会2021年度総会、および市内蟻ヶ崎宍沢川の生き物観察会の報告

②信州環境カレッジへの実施登録結果の状況について
議事：

①2021年度は松本市の市民生き物調査「ホタル」について

②松本ホタル学会関係の活動スケジュール

問合せ：松本ホタル学会代表：藤山静雄 050-7502-9328

Email：sfujiya@shinshu-u.ac.jp

事務局：横山 090-1736-6771

【ボランティア募集情報】

SAD サークル Nagano あがり症の交流会

参加者&ボランティア募集

軽いあがり症~過度な緊張症(社交不安症)

の方向け、サークル活動♪

対象：トークにカフェ巡りを楽しんで下さる方。

10代~40代

日時：毎月第2・4日曜日 13:00~15:00

会場：松本市市民活動サポートセンター

月会費：ボランティアも500円(学生免除)

申込み・問合せ：SAD サークル Nagano

TEL：090-6539-1363(宮下)

Email：sad_nagano@yahoo.co.jp

■ サポートセンターより

新規登録団体紹介

中信美術会

中信地区に於ける美術の振興と美術家相互の緊密なる連繋及び研究向上を図り、当地方文化の発展に貢献します。

松本まると博物館友の会

会員の教養と親睦を深め、博物館活動に協力し、会員同士の自主活動を通して、博物館の振興に寄与することを目的とします。

新スタッフ紹介

☆この4月から市民活動サポートセンターでお世話になることになりました山田正と申します。さて、実は今をさかのぼること十数年前サポートセンターの開館時から4年間ここで勤務をさせていただきました。当時はNPO法人が国内で急激に立ち上がり始めた頃で、同時に「協働」という言葉も社会で頻りに使われ紙面をにぎわせていました。今思うと懐かしさと当時の熱気がよみがえってきます。本年度市の組織体制が大きく変わりましたが、その頃の精神は今も生きています。今後は少しでも利用者の皆さんのお役に立てるよう頑張りますので何卒宜しくお願い致します。(市民活動サポートセンター長 山田正)

☆5月からお世話になっております小澤と申します。不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、早く仕事を覚え、一日も早く皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。(小澤麻由美)

プラチナサロン 6月

日時：6月10日(木) 10:00~15:00

午前・午後：チンチン電車歴史散歩

講師：臼井光裕(プラチナサポーターズ松本)

会場：松本市横田周辺

対象：おおむね55歳以上

参加費：300円

プラチナサロン 7月の予定

日時：7月8日(木) 10:00~12:00

午前：スマホ講座

会場：市民活動サポートセンター

対象：おおむね55歳以上

参加費：300円

編集後記

色とりどりのお花が綺麗に咲く季節となりました。サポートセンターにも季節のお花が置かれていて、利用者様に「綺麗だね」と声を掛けていただいています。まだ目にしたことのない方はぜひ、入り口付近やカウンターへ注目してみてください!

新年度になりサポートセンターも新しいスタッフを迎えました。気持ちも新たに頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。(犬飼)